

おおさき
探訪
vol. 22
法華三郎打初式

おおさき
探訪
vol. 22
法華三郎打初式

2008
No.22
1
平成20年1月1日発行
[毎月1日発行]

- 市長新年のあいさつ …②
- 大崎市総合計画策定 …④
- イベント情報 …⑪
- 民生委員・児童委員・主任児童委員の委嘱 …⑫
- 税の申告はお早めに …⑮
- 後期高齢者医療制度が始まります …⑯
- シリーズ・DC (仙台・宮城デスティネーションキャンペーン)、大崎市メールサービスをスタートします …⑰
- まちの話題 My Town Topics …⑱
- 自慢の逸品 しの竹細工 …⑳
- 情熱大崎 金属造形作家 新田亜紀子さん …㉑
- 生涯学習 …㉒～
- お知らせ …㉔～
- 健康・子育て …㉚～

表紙の写真・名刀誕生を祈願して 法華三郎打初式
(写真は平成19年打初式)



守り継ぐ伝統と匠の技 法華三郎打初式

名刀「大和伝」を伝承する、松山地域の刀匠法華三郎日本刀鍛錬所では、毎年正月五日に「打初式」が行われます。新年の無事故と作刀の上達を祈る神聖な行事で、松山地域の人たちが大切にしていた正月の伝統行事でもあります。

法華三郎は松山地域の歴代刀工の家系で、現在は九代目法華三郎信房氏と十代目法華三郎栄喜氏により、古より続く伝統が大切に受け継がれ、また、その究極を求めて研さんし続けています。

烏帽子に直垂姿の正装に身を包み、凛とした空気がみなぎるなか執り行われる神事は、神様をお呼びする降神の儀、祝詞、奏上、玉串奉天、そして法華三郎信房、栄喜親子が伝統の採火法「鑽火」によって火を起し、火入れ、第一追、鍛錬、そして昇神の儀と古式ゆかしき儀式が厳かに進行していきます。

普段は制作現場を見ることができませんが、この日はやはり見学が可能です。毎年多くの人が、美しい日本刀の鍛造を一目見ようと訪れます。

法華三郎信房氏 18歳から父の元で鍛刀の修行を積み、前名信次(後に九代目信房)としてその極めて高い作風を継承し、研さんし続けています。日本の刀工百余人のうち大和伝保昌派の鍛法を続けているのは信房氏だけだといわれています。

